



中春別小学校
学校便り

窓

第7号

発行責任者 校長 荒 雅 樹
令和3年9月30日発行

運動会ありがとうございました。

9月12日(日)には、分散・縮小して運動会を実施いたしました。保護者の皆様には感染防止をしながら参観、一部プログラムの変更、移動ポケットの寄贈など、ご理解ご協力をいただき、皆様に支えられた運動会となりました。ありがとうございました。

徒競走、大玉転がし、リレー、よさこい、玉入れなど、グラウンドには勝利を目指して協力し元気に駆け回る子どもたちの姿と、その姿を温かく見守りたくさんの励ましを送って下さった皆様の姿がありました。

子どもたちの振り返りには、運動会の楽しさ、自分や友だちの頑張り、来年への課題などなどが綴られていました。お家の人に褒められたことなども書いている子もたくさんおりました。帰宅してから、撮影した動画を家族で見ながらも一度運動会を楽しんだり、お家の方が子どもの頑張りやよさ、「もっとこうした方が速く走れるよ。」といったアドバイスをしたり……。そんな家での様子が子どもたちの振り返りから見てとれました。午後は家族で運動会を振り返る……。そんな有意義なひと時だったのではないのでしょうか。

閉会式後には、グラウンドのピン抜きやテントの片づけまでPTA役員の方にお手伝いいただきました。おかげさまで、運動会の片づけ全てをその日のうちに終わることができました。そのため、振替休業後の登校日には、片づけを行うことなく、始業後すぐに子どもたちと学習に入ることができました。また、子どもたちにも疲れが残っている様子は見られませんでした。とてもいいスタートが切れました。

本日で緊急事態宣言が解除となりますので、10月11日(月)・12日(火)の6年生修学旅行、17日(日)の音楽発表会は予定通りに行います。感染状況は落ち着いてきておりますが、コロナ禍であることに変わりはありません。今後も、感染拡大防止を継続し教育活動を行っていきます。

運動会は、決められた種目をみんなで力を合わせ、知恵を合わせて取り組んできました。10月の音楽発表会では、どんなことをどのように発表するかは各学年に任せられます。「自分たちの発表を決め、自分たちで作っていく。」そのような主体的な経験をさせることにより、子どもたちの表現力、創造力、協力などを高めていくのがねらいです。

本日から特別時間割が始まりました。音楽発表会に向けて大きく舵を切っていきます。10月17日の音楽発表会につきましては改めてご案内を申し上げます。

本日で前期が終了いたしました。子どもたちは前期通知表を家に持って帰ります。4月から9月までの教育活動(学習や生活等)を通して、見えてきたお子さん一人一人のよさや成長、課題、可能性等をご家庭にお知らせいたします。お子さんと一緒に通知表をご覧になりながら、それらについて、お話しただけるとありがたいです。学校では、後期はお子さんのよさをさらに伸ばすとともに、課題の克服に向けて関わりを深めていきます。

また、4月からタブレットPCを活用し、その扱い方やルールも子どもたちに浸透してきました。後期には、家庭学習の充実や規則正しい生活のために、家庭への持ち帰りについて積極的に行っていく予定です。時期や内容等、詳しいことにつきまして改めてお便り等で説明を行ってまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

いいなあ。中春っ子

先日、休み時間に1年生の「おおきなかぶ」の劇発表が行われました。国語で学習した音読や動作化で楽しい劇を作っていました。ずいぶんたくさんの子が見に来ていましたので、1回の発表を2回に分けて行うことになりました。

運動会前日に、4~6年生のよさこいの練習を1~3年生が見に行きました。高学年の迫力ある踊りに感動したのでしょう。その思いをメッセージカードにして伝えました。自分の思いを表現する1~3年生。その思いを受け取る高学年。こんな素晴らしいやりとりがありました。

昨日、2年生が休み時間に「生き物博士」を行いました。生活科で学習した生き物について、バッタコーナー、カブトムシコーナーなどに分かれての催しをしました。内容は、生き物の説明のほか、塗り絵、折り紙、射的などのお楽しみがあり、たくさんの子も集まっていました。高学年の子もずいぶんたくさん楽しんでくれました。

会場の一つ特別活動室入り口には、いつもとは違い、靴が脱ぎ捨てられていました。きっと夢中になっていたからですね。ところが、高学年2人が靴をそろえ始めました。黙々と……。並べ終わったら、そのまま立ち去りました。その後、特別活動室に入る子はきちんと靴を揃えるようになりました。

(校長 荒 雅 樹)